

石川県立志賀高等学校 介護職員初任者研修の概要

1 研修機関情報

- ① 事業所名称・住所 石川県立志賀高等学校 介護職員初任者研修
石川県羽咋郡志賀町高浜町ノの170番地
- ② 代表者 学校長 中川 久仁彦
- ③ 教育目標

- 1 自己の言動に責任を持ち、自主性を培い、知性と教養を身につけた、心身ともに健全でたくましい人間を育成する。
- 2 一人ひとりの個性を伸ばし、自他の人格を尊重する情操豊かな人間を育成する。
- 3 地域を愛し、地域を学び、地域を創造する人材を育成するとともに、世界に対する広い視野を持った有意な社会の形成者を育成する。

④ 学 則

- | | |
|------------|--|
| 1 開講目的 | 高齢化が進む地域のニーズに対応し、福祉サービスの担い手として活躍できる有為な人材を育成していくことを目的とする。 |
| 2 研修事業の名称 | 石川県立志賀高等学校 介護職員初任者研修 |
| 3 実施場所 | 石川県立志賀高等学校 福祉講義室・福祉実習室 |
| 4 研修期間 | 16カ月 |
| 5 研修カリキュラム | <u>「研修カリキュラム」</u> 参照 |
| 6 使用テキスト | 介護職員初任者研修テキスト（中央法規発行） |
| 7 講師氏名 | 専任 村田真理子 専任 春成 寿子 |
| 8 研修修了の認定 | 【知識の獲得】 1) すべての課程を修了した後、修了評価課題として筆記試験・口答試験を実施する。その結果、6.5割以上に達していること。 2) 定期考査の結果が、一定の水準に達していること。 【技術の獲得】 1) すべての演習の課程が修了した後、事例を用いた実技試験を実施する。その結果、一定の水準に達していること。 2) 定期考査の結果が、一定の水準に達していること。 |
| 9 開講時期 | 令和6年10月7日～令和8年1月30日 |
| 10 受講資格 | 石川県立志賀高等学校 普通科福祉コース 令和5年度入学生（現2年生） |
| 11 受講手続き | 普通科福祉コース全員が受講する。 |
| 12 実習費等 | テキスト・実習着代金は自己負担とする。 |

- ⑤ 研修施設・設備
- 講義会場 — 福祉講義室 (面積: 86 m²)
 - 演習会場 — 福祉実習室 (面積: 99.252 m²)
 - 備品・教材 — 介護用ベッド5台、実習用モデル1体、車椅子9台、ポータブルトイレ5台、排泄用具14個、浴槽1台、歩行補助杖6本、和式布団一式
- ⑥ 沿革 本校ホームページ参照

2 研修事業情報

《研修の概要》

- ① 対象 普通科福祉コース令和5年度入学生(現2年生)8名
- ② 研修期間 令和6年10月7日～令和8年1月30日
* 日程は、「研修カリキュラム」及び「研修日程表」参照
- ③ 定員 8名
- ④ 指導者数 2名
- ⑤ 研修受講までの流れ 普通科において福祉コースを選択した生徒が受講する。
- ⑥ 費用 石川県立志賀高等学校の教育活動の一環として行われるため、介護職員初任者研修のための別途受講料は徴収しない。
- ⑦ 受講者へのメッセージ この研修を通して、福祉の心と介護の実践力を身につけ、様々な現場で活躍してくれることを期待している。

《課程編成責任者》 学校長 中川 久仁彦

《研修カリキュラム》 「研修カリキュラム」及び「研修日程表」参照

《修了評価》

- ① 知識の獲得については、以下の2点から判断する。
- 1) すべての課程を修了した後、修了評価課題として筆記試験・口答試験を実施する。その結果、6.5割以上に達していること。
 - 2) 定期考査の結果が、一定の水準に達していること。
- ② 技術の獲得については、以下の2点から判断する。
- 1) すべての演習の課程が修了した後、事例を用いた実技試験を実施する。その結果、一定の水準に達していること。
 - 2) 定期考査の結果が、一定の水準に達していること。

3 講師情報

| 氏名 | 担当する科目 | 専兼の別 | 略歴・現職・資格等 |
|--------|---|------|--|
| 村田 真理子 | 1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 3. 介護の基本 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5. 介護におけるコミュニケーション技術 6. 老化の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 ①基本的知識の学習 ②生活支援技術の講義・演習 ③生活支援技術演習 | 専任 | 平成16年4月～石川県立田鶴浜高等学校福祉科教諭 平成25年4月～石川県立志賀高等学校福祉科教諭 精神保健福祉士 |
| 春成 寿子 | 7. 認知症の理解 8. 障害の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 ②生活支援技術の講義・演習 | 専任 | 平成23年4月～石川県立田鶴浜高等学校家庭科・福祉科教諭 平成30年4月～石川県立志賀高等学校家庭科・福祉科教諭 |

4 実績情報

- ① 過去の研修実施回数 11回
- ② 過去の研修延べ参加人数
- | | |
|------------------------|-------|
| 第1回 (平成25年10月～平成27年1月) | : 15名 |
| 第2回 (平成26年10月～平成28年1月) | : 12名 |
| 第3回 (平成27年10月～平成29年1月) | : 13名 |
| 第4回 (平成28年10月～平成30年1月) | : 13名 |
| 第5回 (平成29年10月～平成31年1月) | : 8名 |
| 第6回 (平成30年10月～令和2年1月) | : 9名 |
| 第7回 (令和元年10月～令和3年1月) | : 15名 |
| 第8回 (令和2年10月～令和4年1月) | : 6名 |
| 第9回 (令和3年10月～令和5年1月) | : 4名 |
| 第10回 (令和4年10月～令和6年1月) | : 7名 |
| 第11回 (令和5年10月～令和7年1月) | : 9名 |
| 第12回 (令和6年10月～令和8年1月) | : 8名 |
- (第11回と第12回は実施中)

5 連絡先等

- ① 苦情対応者名 福祉科教諭 村田 真理子
- ② 連絡先 0767-32-1166

研修カリキュラム<講義と演習>

| 科目の細目 | 講義と演習の実施方法 |
|--------------------------------|--|
| 1. 職務の理解 (6時間) | |
| 多様なサービスの理解 (2時間) | 調べ学習を通して、福祉サービスが多様であることへの理解を促す。 |
| 介護職の仕事内容や働く現場の理解 (4時間) | 視聴覚教材を活用し、介護職の仕事の内容や、介護の現場を具体的に実感させる。 |
| 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間) | |
| 人権と尊厳を支える介護 (6時間) | 視聴覚教材の活用やロールプレイ、事例検討で、人権と尊厳を支えることの必要性について具体的に実感させる。 |
| 自立に向けた介護 (3時間) | 個々に応じた自立に向けた介護の方法について、事例検討で理解を促す。 |
| 3. 介護の基本 (6時間) | |
| 介護職の役割、専門性と多職種との連携 (2時間) | 事例を用いて介護職としての役割を考えさせるとともに、多職種と連携することが重要であると実感できるように促す。 |
| 介護職の職業倫理 (1時間) | 介護職に必要な職業倫理について、小グループでの検討で理解を促す。 |
| 介護における安全の確保とリスクマネジメント (2時間) | 介護におけるリスクに気づき、緊急対応の重要性を理解するとともに、サービス提供責任者や医療職と連携することが重要であると実感できるように促す。 |
| 介護職の安全 (1時間) | 事例を用いて、介護職の健康が利用者へのケアの質を高めることへの気づきを促す。 |
| 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間) | |
| 介護保険制度 (4時間) | 視覚教材を活用して介護保険制度の創設背景や介護の社会化への理解を促し、さらに医療保険制度、年金保険制度について正しく理解し、生活に重要であると実感できるように促す。 |
| 医療との連携とリハビリテーション (2時間) | 視覚教材を活用し、寿命の延伸や介護の長期化等から医療との連携の必要性に気づくとともに、リハビリテーションの意義についての理解を深める。 |
| 障害者自立支援制度およびその他制度 (3時間) | 視覚教材を活用して制度の概要を正しく理解させる。さらに、事例を活用して個人の権利を守る制度の理念や目的についても理解を促す。 |

| 科目の細目 | 講義と演習の実施方法 |
|--|--|
| 5. 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間) | |
| 介護におけるコミュニケーション (4時間) | ロールプレイを用いて、利用者の心理や利用者との人間関係を傷つけるコミュニケーションとその理由について考えさせ、相手の心身機能に合わせた配慮が必要であることへの気づきを促す。 |
| 介護におけるチームのコミュニケーション (2時間) | 事例を用いて、チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることへの気づきを促す。 |
| 6. 老化の理解 (6時間) | |
| 老化に伴うこころとからだの変化と日常 (2時間) | 視聴覚教材の活用等により、加齢や老化に伴う心身の変化や疾病の症状に対する気づきや理解を促す。 |
| 高齢者と健康 (4時間) | 事例やロールプレイを活用し、加齢により失われた自信を取り戻す関わりの必要性を理解する。 |
| 7. 認知症の理解 (6時間) | |
| 認知症を取り巻く状況 (1時間) | 視覚教材を活用し、認知症ケアの理念や視点についての理解を促す。 |
| 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (1時間) | 視覚教材を活用し、認知症の概念、中核症状、治療等について正しく理解し、事例を用いて身体的不調とそのケアのポイントについての理解を促す。 |
| 認知症に伴うこころとからだの変化と日常 (2時間) | 視聴覚教材の活用やロールプレイを行うなど、認知症の方の心理や行動への気づきや理解を促す。さらにグループ討論を行ない、認知症の人が満足できるケアを考える。 |
| 家族への支援 (2時間) | 事例を活用して家族の負担に気づき、レスパイトケアの必要性を理解する。 |
| 8. 障害の理解 (3時間) | |
| 障害の基礎的理解 (1時間) | 障害の概念とICF等の基本的な考え方を扱ったうえで、視聴覚教材の活用などにより、介護における基本的な考え方の気づきを促す。 |
| 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援 (1時間) | それぞれの障害特性を理解し、事例を活用してそれぞれの生活援助のポイントや関わり方への理解を促す。 |
| 家族の心理、かかわり支援の理解 (1時間) | 事例を用いて家族の身体的・精神的負担に気づき、それらの負担軽減方法への理解を促す。 |

| 科目の細目 | 講義と演習の実施方法 |
|---|--|
| 9. こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間） | |
| ①基本知識の学習（12時間） | |
| 介護の基本的な考え方 （2時間） | 事例を活用し、理論や法的根拠に基づいた介護の重要性への気づきを促す。 |
| 介護に関するこころのしくみと基礎的理解 （5時間） | 人の記憶のしくみや感情、意欲、生きがいについて正しく理解し、事例を用いて動機づけや行動変容支援への理解を促す。 |
| 介護に関するからだのしくみと基礎的理解 （5時間） | 視聴覚教材や模型を使って理解させ、具体的な身体の各部の名称や機能等が列挙できるように促す。 |
| ②生活支援技術の講義・演習（53時間） | |
| 生活と家事 （講義3時間） | ロールプレイを行い、自己実現に向けた家事支援には、自立を促し介護予防に貢献する社会的意義があることを理解する。 |
| 快適な居住環境整備と介護 （6時間：講義2時間、演習4時間） | 視覚教材を用いて、安全かつ快適に生活するために住宅を工夫する必要性への気づきを促す。さらに、住宅改修が自立を支援し、生きがいある人生を支援することを理解する。 |
| 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （8時間：講義2時間、演習6時間） | 講義では視聴覚教材を活用して、整容におけるからだのしくみと、整容ができなくなるのがこころに及ぼす影響について理解する。 演習では、実践を通して自立を支援する具体的な介助方法を身に付ける。 |
| 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （8時間：講義2時間、演習6時間） | 講義では視聴覚教材を活用して、移動・移乗におけるからだのしくみと、移動・移乗ができなくなるのがこころに及ぼす影響について理解する。 演習では、実践を通して自立を支援する具体的な介助方法を身に付ける。 |
| 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （6時間：講義2時間、演習4時間） | 講義では視聴覚教材を活用して、食事摂取におけるからだのしくみと、自分で食事ができなくなるのがこころに及ぼす影響について理解する。 演習では、実践を通して自立を支援する具体的な介助方法を身に付ける。 |

| 科目の細目 | 講義と演習の実施方法 |
|---|--|
| 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (8時間：講義2時間、演習6時間) | 講義では視聴覚教材を活用して、清潔保持におけるからだのしくみと、清潔保持ができなくなることがここに及ぼす影響について理解する。 演習では、実践を通して自立を支援する具体的な介助方法を身に付ける。 |
| 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (8時間：講義2時間、演習6時間) | 講義では視聴覚教材を活用して、排泄におけるからだのしくみと、排泄ができなくなることがここに及ぼす影響について理解する。 演習では、実践を通して自立を支援する具体的な介助方法を身に付ける。 |
| 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (講義3時間) | 視聴覚教材を活用して、睡眠のメカニズムや役割などからだのしくみを理解する。さらに安眠するためのところのしくみについて、身近な例を用いて理解を促す。 |
| 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 (講義3時間) | 身近な例を活用し、「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考え、終末期における介護職の役割への理解を促す。 |
| ③生活支援技術演習(10時間) | |
| 介護過程の基礎的理解 (4時間) | 事例を活用し、科学的根拠に基づいた介護の実践が利用者の尊厳保持や自立を促していることに気付かせる。 |
| 総合生活支援技術演習 (6時間) | 事例を活用し、日常生活場面での具体的な支援方法とその根拠を考え判断したことを、知識をもとに記述し、個に応じた支援の必要性への理解を促す。 |
| 10. 振り返り(4時間) | |
| 振り返り (2時間) | グループ討議で、研修を通して学んだことを振り返り、今後の継続して学ぶことを考えさせる。また、事例を活用し就業へのイメージづけを行う。 |
| 就業への備えと研修修了後における継続的な研修 (2時間) | グループ討議で、介護職として必要な職業観の再認識を促す。また、資料を提示し、今後の介護福祉士国家試験受験資格取得に向けた研修を知らせる。 |
| 合計 | 130時間 |

研 修 日 程 表

| 科 目 名 | 実施日 (通学) | 時間数 (通学) | 講師氏名 | 講師要件 該当資格 |
|---------------------------|---|-------------|-------|--------------|
| 1. 職務の理解 | | 6 | 村田真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 1-1 多様なサービスの理解 | 2024/10/9. 11. 16 | (2) | | |
| 1-2 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 2024/10/16. 18. 23. 25. 30. 11/6 | (4) | | |
| 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 | | 9 | 村田真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 2-1 人権と尊厳をささえる介護 | 2024/11/6. 8. 13. 15. 20. 22. 12/11. 13 | (6) | | |
| 2-2 自立に向けた介護 | 2024/12/13. 18. 20. 2025/1/8 | (3) | | |
| 3. 介護の基本 | | 6 | 村田真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 3-1 介護職の役割、専門性と多職種との連携 | 2025/1/10. 15. 17 | (2) | | |
| 3-2 介護職の職業倫理 | 2025/1/17. 22 | (1) | | |
| 3-3 介護における安全の確保とリスクマネジメント | 2025/1/22. 29. 31 | (2) | | |
| 3-4 介護職の安全 | 2025/2/12. 14 | (1) | | |
| 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | | 9 | 村田真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 4-1 介護保険制度 | 2024/12/12. 17. 19. 2025/1/9. 14 | (4) | | |

| | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|-----|--------|-----------|
| 4-2 医療との連携と リハビリテーション | 2024/11/5. 7. 12 | (2) | | |
| 4-3 障害者自立支援 制度およびその他 制度 | 2024/11/14. 19 . 21. 12/10 | (3) | | |
| 5. 介護におけるコ ミュニケーション技術 | | 6 | 村田 真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 5-1 介護におけるコ ミュニケーション | 2025/2/13. 18. 20. 3/4. 6 | (4) | | |
| 5-2 介護におけるチ ームのコミュニケ ーション | 2025/3/11. 13. 18 | (2) | | |
| 6. 老化の理解 | | 6 | 村田真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 6-1 老化に伴うこ ろとからだの変化 と日常 | 2024/11/7. 8. 12 | (2) | | |
| 6-2 高齢者と健康 | 2024/11/12. 14 . 15. 19. 21. 22 | (4) | | |
| 7. 認知症の理解 | | 6 | 春成 寿子 | 高校福祉1種免許状 |
| 7-1 認知症を取り巻 く状況 | 2025/4/10. 14 | (1) | | |
| 7-2 医学的側面から 見た認知症の基礎 と健康管理 | 2025/4/14. 17 | (1) | | |
| 7-3 認知症にともな うこころとからだ の変化と日常 | 2025/4/17. 21. 24 | (2) | | |
| 7-4 家族への支援 | 2025/4/28. 5/1 . 8 | (2) | | |

| | | | | |
|-----------------------------------|---|--------------|-------|-----------|
| 8. 障害の理解 | | | | |
| 8-1 障害の基礎的理解 | 2025/9/1. 4 | 3 (1) | 春成 寿子 | 高校福祉1種免許状 |
| 8-2 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援 | 2025/9/4. 8 | (1) | | |
| 8-3 家族の心理、かかわり支援の理解 | 2025/9/8. 11 | (1) | | |
| 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 | | 7 5 | | |
| ①基本的知識の学習 | | | | |
| 9-1 介護の基本的な考え方 | 2024/11/13. 18 | (12) (2) | 村田真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 9-2 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 | 2024/11/18. 20 . 25. 12/2. 9 | (5) | | |
| 9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 2024/12/9. 12. 16. 18. 2025/1/8 | (5) | | |
| ②生活支援技術の講義・演習 | | (53) | 村田真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 9-4 生活と家事 | 2024/12/10. 12 . 13. 17 | 講(3) | 春成 寿子 | 高校福祉1種免許状 |
| 9-5 快適な居住環境整備と介護 | 2025/1/8. 15 2025/1/15. 20. 22. 27 | 講(2) 演(4) | | |
| 9-6 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 2025/4/24. 25. 30 2025/5/1. 2. 7. 8. 9. 21 | 講(2) 演(6) | | |

| | | | | |
|--------------------------------------|--|--------------|--------|-----------|
| 9-7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 2025/1/27. 29. 2/3 2025/2/3. 5. 10 . 12. 17 | 講(2) 演(6) | | |
| 9-8 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 2025/2/19. 3/5 . 10 2025/3/10. 12. 17. 19 | 講(2) 演(4) | | |
| 9-9 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 2025/6/4. 5 2025/6/5. 6. 11 . 12. 13. 18. 19 | 講(2) 演(6) | | |
| 9-10 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 2025/4/10. 11 2025/4/11. 16. 17. 18. 23. 24 | 講(2) 演(6) | | |
| 9-11 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 2025/9/3. 4. 5 | 講(3) | | |
| 9-12 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介 | 2025/11/5. 6. 7 | 講(3) | | |
| ③生活支援技術演習 | | (10) | | |
| 9-13 介護過程の基礎的理解 | 2025/11/12. 13 . 14. 19 | (4) | 村田 真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 9-14 総合生活支援技術演習 | 2025/11/20. 21 . 12/3. 4. 5. 10 | (6) | | |

(ホームページ公開情報)

| | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-----|--------|-----------|
| 10. 振り返り | | 4 | | |
| 10-1 振り返り | 2025/12/11. 12 | (2) | 村田 真理子 | 高校福祉1種免許状 |
| 10-2 就業への備えと 研修修了後における 継続的な研修 | 2026/1/14. 15 | (2) | | |
| 筆記・口答試験 | 2026/1/21 | (1) | | |
| 実技試験 | 2026/1/22 | (2) | | |